

野菜の育て方 小学生に指導

西彼農高生

西海市西彼町の県立西彼農高（原口三徳校長）の生徒が「先生役」となり、地元の小學生に動物の飼育や



サツマイモの苗を植える児童と生徒
西彼農高

野菜の育て方などを教える「学童ふれあい広場」が8日開講した。10月まで3回開く。

動物との触れ合いや、農作業を通して農業の楽しさを知ってもらおうと、同校と市教委が毎年実施。初回は同校の動物飼育部員25人が、西彼町内の小学1、3年生計24人とジャガイモを収穫した後、サツマイモの苗300本を植えた。サツマイモは10月にある最終回で収穫し、焼き芋にして味わう予定。

施設園芸科3年の杉永航希さん(17)は「作業内容をいかに分かりやすく伝えるかを考えた。子どもたちが興味を持ってくれてよかった」と話した。

(佐崎智章)